



日進北小だより

平成30年2月1日 2月号 第10号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

節 分

校長 宇佐見弘幸

校長室から見える校庭には、まだたくさん雪が残っています。子どもたちが歩く通学路や、学校周辺の家々の屋根の上にもまだたくさん雪が残っています。

1月22日(月)に降った雪は、昼過ぎより強くなり、やがて校庭や通学路に積もり始めました。月曜日は5時間授業なので、どの学年も授業終了後、速やかに下校を開始するとともに、教職員による下校指導を実施しました。その後も雪は降り続き、校庭は約20cmの積雪となりました。23日は、まだ暗いうちから学校に到着した教職員が次々に校内の雪かきを実施し、登校時間に間に合うように除雪は完了しました。しかし、通学路には3本の歩道橋や急な坂道などがあります。雪はやんでいましたが、路面は凍結し滑りやすい状態でした。子どもたちの安全を考え、登校時刻を遅らせ、通学路の安全確認と教職員による登校指導を実施する措置を取りました。急な変更で大変ご迷惑をおかけしましたが、ご協力をいただきましてありがとうございました。また、通学路を中心に、保護者や地域の皆様が、多くの場所で除雪をしてくださり、登校を見守ってくださっている様子に大変感動しました。学校は皆様に支えていただいていることを改めて実感しました。ありがとうございました。

さて、2月が始まりました。2月3日は「節分」です。「節分」とは季節と季節の変わり目で、昔は春、夏、秋、冬の4回の変わり目に行事をしていたそうです。この節分の行事は、1200年も前に、中国から伝わってきたものだといわれています。その頃、大変悪い病気がはやっていて、多くの人が苦しんでいるとき悪い病気を追い払う行事をしたのが始まりだといわれています。これが、一軒一軒の家にも広がって、今日まで続いているという説もあります。豆をまくだけでなく、イワシの頭を焼いたものとヒイラギの葉を束ねて家の入口にさしたりすることもあります。鬼がイワシを焼いた匂いを嫌い、ヒイラギのとげに刺されることを嫌って、家の中に入れないという言い伝えによるものだそうです。

ところで、節分というと豆まきです。私が子どものころは、近所に子どもがいる家が多かったこともありますが、夕方から夜にかけて、あちらこちらの家から「福は内、鬼は外」というこえが聞こえてきました。最近はどうなのでしょう。ご家庭で豆まきはなさっていますか。この「福は内、鬼は外」ですが、場所によって多少ちがいがあがるようです。寺社の中には、鬼を祭神としているところがあり、そのような寺社では鬼はよき鬼神として災厄を祓ってくれるとされ、「鬼は外」とはいわず、福と一緒に内に招き入れることになっているそうです。また、全国から追われた鬼を神仏の力で改心させようという寺社もあるそうです。町の守り神なので、全国各地から追われた鬼を歓迎している地域もあるそうです。

ことばはさておき、寒い冬の夜に家中の窓を開け、家族そろってみんなの健康を願い、元気に声を出して豆をまくことは、家族としてのつながりを深めることにもつながると思います。この機会に、日本の伝統に触れてみてはいかがでしょうか。